

特殊詐欺の被害状況等について



東山警察署 生活安全課

発生状況 (府下の認知件数と被害額)

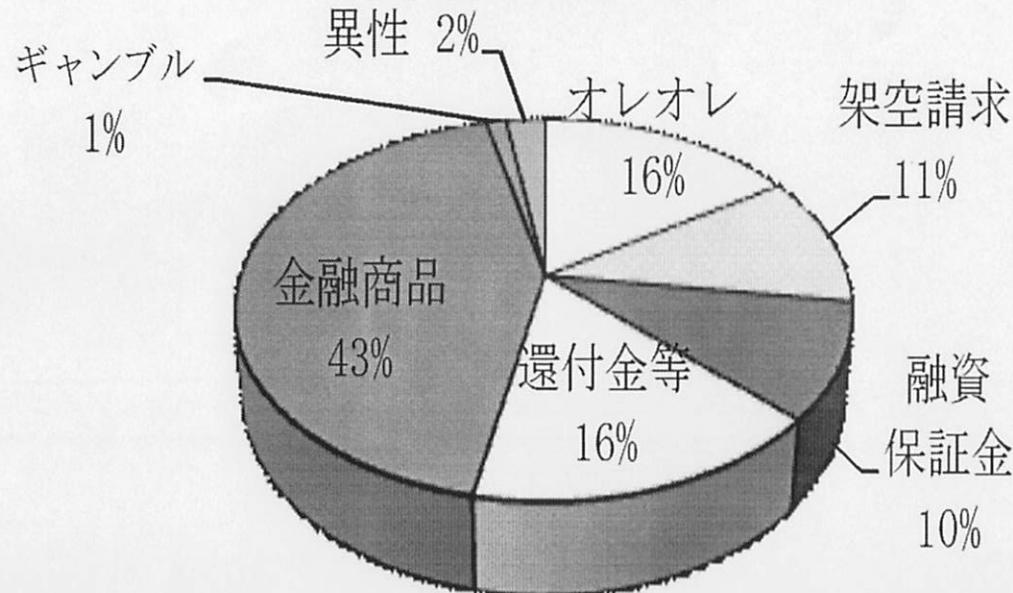
| 手口 | H20 | | H21 | | H22 | | H23 | | H24 | | H25. 6末 | | |
|----------|----------------|--------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| | 認知 件数 | 被害額(円) 件数 | 認知 件数 | 被害額(円) | 認知 件数 | 被害額(円) | 認知 件数 | 被害額(円) | 認知 件数 | 被害額(円) | 認知 件数 | 被害額(円) | |
| 振り込め詐欺 | オレオレ詐欺 | 49 | 56,383,775 | 11 | 4,436,200 | 37 | 3,606,000 | 17 | 1,000,000 | 13 | 84,503,880 | 24 | 80,580,000 |
| | 架空請求詐欺 | 79 | 68,291,220 | 83 | 103,521,330 | 44 | 54,730,895 | 14 | 30,884,500 | 9 | 4,281,000 | 12 | 91,225,500 |
| | 融資保証金詐欺 | 97 | 114,844,042 | 26 | 18,257,243 | 4 | 2,223,800 | 6 | 5,888,895 | 8 | 7,235,751 | 4 | 2,316,188 |
| | 還付金等詐欺 | 78 | 73,058,788 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 355,027 | 13 | 20,405,627 | 14 | 10,183,456 |
| 振り込め詐欺以外 | 金融商品等取引名目の詐欺など | | | | | | | 28 | 118,109,525 | 38 | 290,894,800 | 22 | 119,791,000 |
| 計 | 303 | 312,577,825 | 120 | 126,214,773 | 85 | 60,560,695 | 66 | 156,237,947 | 81 | 407,321,058 | 76 | 304,096,144 | |

急激に増加

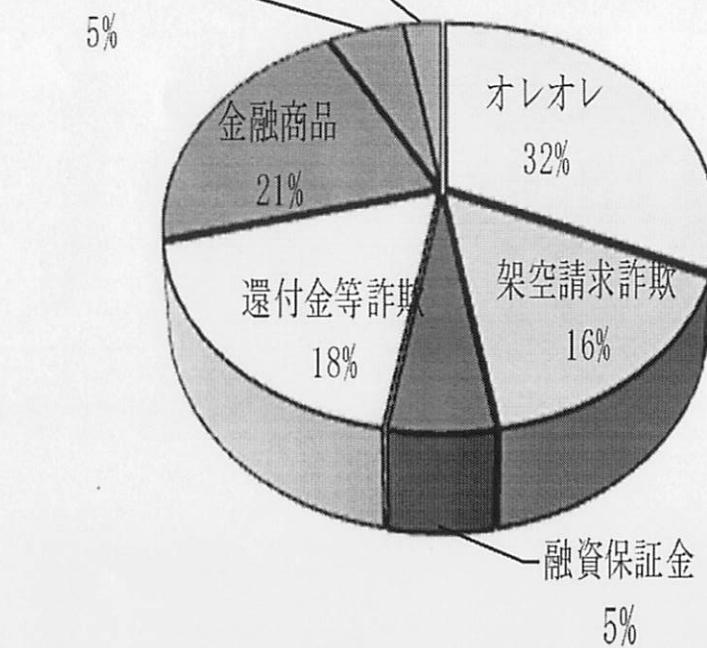
全国：特殊詐欺被害額…毎日1億円（平成24年中）

手口別の認知状況

手口別の認知状況
(平成24年中)



手口別の認知状況
(平成25年6月末)

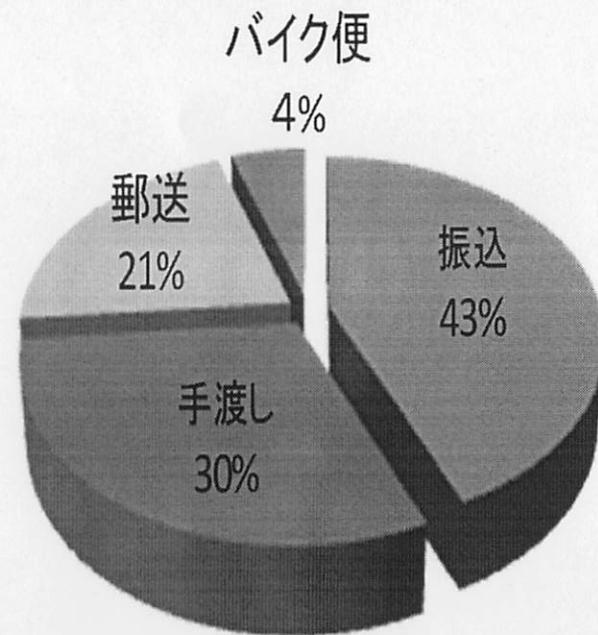


嘘の社債の購入名目で現金を振り込ませるなどの金融商品等取引名目の詐欺
オレオレ詐欺、医療費を還付すると偽った還付金等詐欺が多発

現金の送金方法

| | |
|------|--------|
| 振込 | …… 33件 |
| 手渡し | …… 23件 |
| バイク便 | …… 4件 |
| 郵送 | …… 16件 |

被害者の送金方法
(平成25年6月末)



『郵送』の内訳』

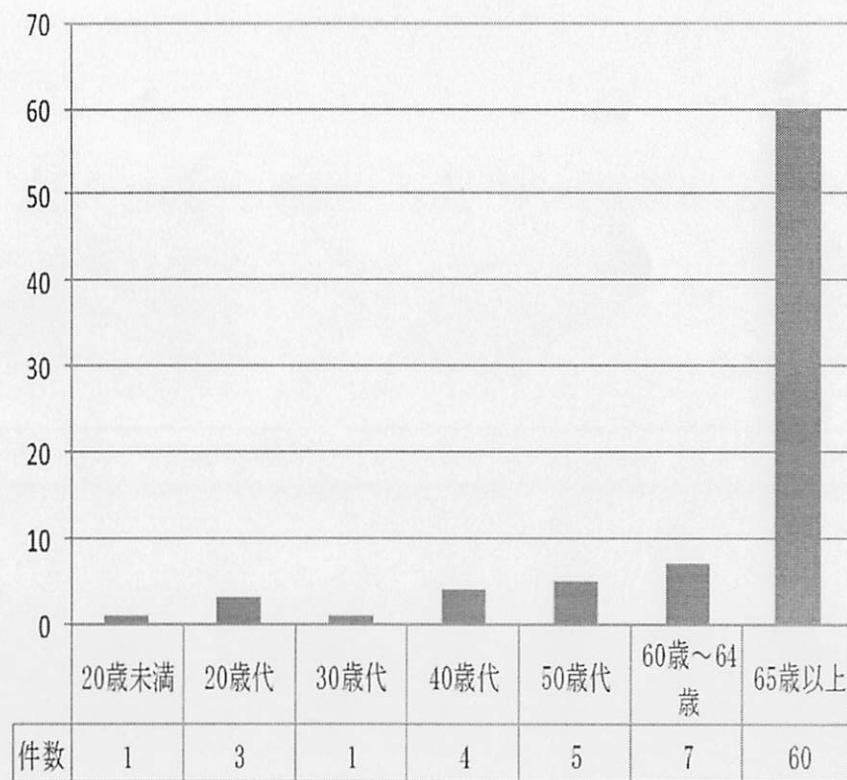
| | |
|--------|----|
| ゆうパック | 6件 |
| レターパック | 6件 |
| 現金書留 | 3件 |
| ポスト投函 | 1件 |
| 宅急便 | 3件 |

* 複数計上

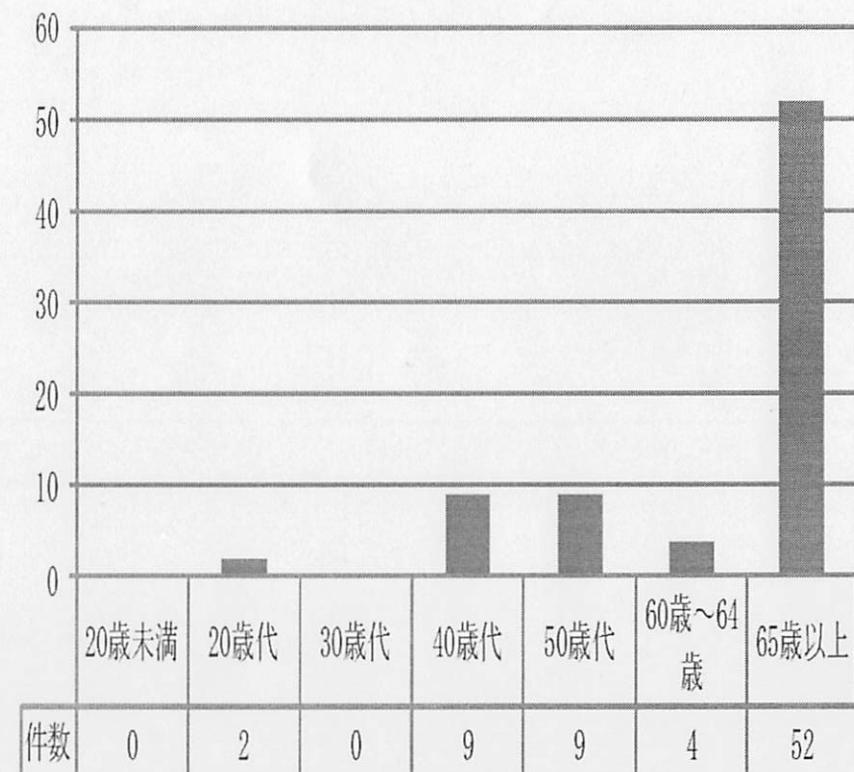
半数以上が「振込以外」の方法で送金

高齢者の割合

被害者の年代別認知件数
(平成24年中)



被害者の年代別認知件数
(平成25年6月末)



高齢者(65歳以上)に被害が集中

オレオレ詐欺の手口

【パターン1】

「前日」

- ・ガラガラ声で電話がある

「風邪をひいた。扁桃腺が腫れている」



「携帯電話が壊れた。番号が変わった」



「明日の朝、電話をかけてほしい」

「当日」

- ・泣き声や慌てた声で

「誰にも言えないが……」



「実は会社の金を使い込んでしまった」

「女性を妊娠させてしまった」



「このままでは会社をクビになる」

【パターン2】

- ① 息子を名乗り、慌てた声で電話がある

「電車の中にカバンを忘れた」

「すぐに必要なものが入っている」

- ② 忘れ物センターや交通局を名乗る男から電話がある

「カバンが見つかった。これから届ける」

→ 住所などを聞き出す

- ③ 再び息子を名乗った男から電話がある

「カバンが届く時間では間に合わない」

「カバンが届くまでお金を立て替えて！」

「部下(知人)を行かせるので金を渡して！」

- ④ すぐに息子の部下や知人と名乗る男が家に来て、現金を受け取る

犯人「早く！間に合わない」→被害者「早くしなくては！！」
焦らせるのが犯人の作戦！！

還付金詐欺の手口

【当日：午前10時～午後1時ころの間】

- ・〇〇市役所福祉課、社会保険の〇〇です。
「5年間の医療保険の還付がある」「還付の申請期限が過ぎている」

「通帳とキャッシュカードを持って、近くのATMコーナーへ」
「申請期限切れのため、役所では手続きできない」

・ATMコーナーからフリーダイヤルに電話するように言う

・犯人の指示どおりにATM機を操作
 - ・振込先口座確認と称し、暗証番号を入力させる
 - ・「あなたの口座とこちらの口座でちゃんと送金できるかチェックする」と言い、振込先を入力させる
 - ・申請番号と称し「498438」などの6桁の数字を入力させる

何の操作をしているか分からなくなり
気が付けばお金を振り込んでいる

還付金等詐欺の新たな手口(自宅訪問型)

【5月13日 午前11時45分ころ：伏見区内】

- 区役所職員を名乗る男が高齢者宅を訪問
「介護保険の還付金がある」
「口座開設が必要」「お金を預けなければ開設できない」
「利率がいい。20～30万円預ける人もいる」
→ その場で5万円を詐取

【5月21日 午前10時00分ころ：南区内】

- 区役所職員を名乗る男が高齢者宅を訪問
「毎月3万円を支給する」
「後で担当の女性職員が伺うので手続きをしてほしい」
→ 未遂

振り込め詐欺 → 受け取り型の手口が急増

近隣府県の発生状況

還付金詐欺の大きな嵐が・・・

これまで関東で集中発生 → 近畿へも

全国：昨年同時期に比べ約倍増（本年4月末で519件）



大阪：116件（うち4月：約半数）

兵庫：65件（昨年の6倍以上）

京都：現在15件

（3月下旬には4日間で30件以上の予兆電話あり）

収まる気配なし

→保険料決定通知時期に波が來るのでは

被害者からの聞き取り

● なぜだまされたのか？

- 1ヶ月前に、役所から保険関係の書類が届いていたため、電話で社会保険事務所職員を名乗る人物から「社会保険料の還付がある」と言われた時、何の疑いもなく、その話を信じてしまった。
- 犯人の男から、「以前に役所から還付金に関するお知らせの文書を送っている。」と言われた時、そのような書類が送ってきていた記憶があるので話を信じてしまった。
- 昨年、抗がん剤治療を受け、実際に医療費の還付を受けていたので、話を信じた。

- 被害者数：15名 → うち高齢者：14名
- 被害総額：約1,100万円（平均約73万円）
- 振込場所：金融機関のATM（店舗内）：2
金融機関のATM（店舗外）：5
コンビニのATM：4
大型スーパーのATM：7

7月24日現在

未然防止事例

現時点：25件（うち還付金詐欺：4件）

【局内警戒中、携帯電話をしながらATM操作をする高齢女性を発見】

郵便局長が、局内の警戒中、高齢女性が携帯電話で通話しながらATMを操作しているのを発見。直ちに、声掛けを行ったところ「社会保険事務所から医療費の還付金があり、その手続きをATMで行っていた。」と申し立てた。

振り込め詐欺の典型的な手口と判断し、同女性が振り込んだ後であったが、速やかに振込先の金融機関本店に対し口座凍結を依頼したことで、被害を未然に防止した。

【被害多発を受け警察官がATM付近で張りつけ警戒実施中に発見】

4月18日～19日に、京田辺市役所職員を騙った医療保険還付金名目の不審電話があるとの相談が約10件よせられたことから、田辺警察署員が、連日、「フレスト松井山手店」の三菱UFJ銀行のATM機前での張りつけ警戒を実施した。

警戒中、現金を振り込むうとしている女性を発見、振込手続きを中断させ、被害を未然防した。（計2名を未然防止）

【京都市役所職員による速やかな声かけと金融機関との連携により未然防止】

4月9日、京都市役所内にある三菱UFJ銀行ATMで、高齢女性が携帯電話で通話しながら操作しているのを市役所職員（行財政局総務部庁舎管理課）2名が発見した。

同銀行の市役所出張所職員に連絡し、手続きを中断させ、被害を未然防した。

* 中京警察署長から感謝状贈呈（新聞報道あり）

職員のコメント「市民の財産を守ることができてよかったです」

京都市との連携状況

① 保険年金課との連携

市内全役所の保険年金担当課長対象に講話を実施
5月24日、於：上京区役所

② くらし安全推進課との連携

予兆情報の提供に基づく先制的な注意喚起啓発の実施

- * 京都市職員を名乗る詐欺に注意
 - 「屋外広告物担当を名乗る人物が現金を要求」
 - 防犯・犯罪情報メールの配信
 - 報道機関による注意喚起へ発展
 - * 緊急通報システム「あんしんネット119」口座振替手続きにかかる京都市職員による利用高齢者宅を戸別訪問中
 - 同訪問を装った詐欺犯罪への注意喚起

効果的・タイムリーな注意喚起を(一步踏み込んで)

「医療費還付」「保険料還付」 → 高齢者にとっていわば日常的

効果的な注意喚起方法は……

① ワンセット教示

具体的な手口 & 不審電話あった場合の対象方法

* 抽象的な注意喚起「振り込め詐欺にご注意を！」のみではダメ

② 高齢者との接触機会を活用

警察：高齢者対象防犯教室…寸劇の盛り込みなど

役所：窓口に来られた高齢者への直接注意喚起

* 保険年金、介護保険担当職員などからの直接指導

→ インパクトあり、記憶に残る

- 区役所窓口での被害防止啓発資料の固定掲示はできないか
→ 窓口で高齢者の目に付くように、カウンター上に同掲示資料を貼付
写しを欲しいという高齢者には同資料の写しを交付
- 対象者宛てに申請書等を郵送（封筒）する際の注意喚起資料の同封
→ 郵便料金が変わらない範囲で資料追加できないか
- 発送ハガキ、封筒に「注意を促す文言」を印字できないか